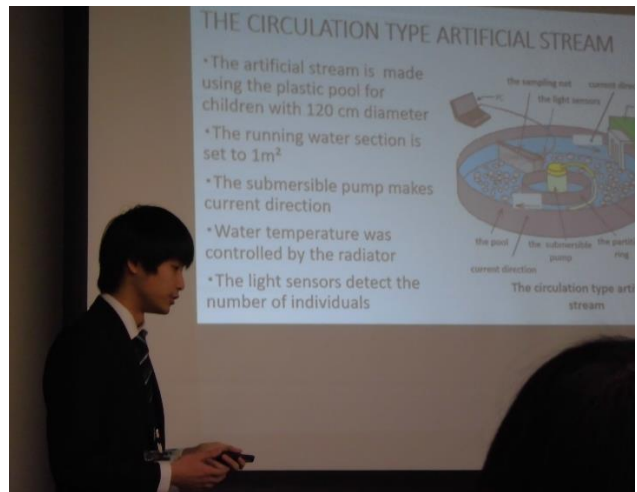
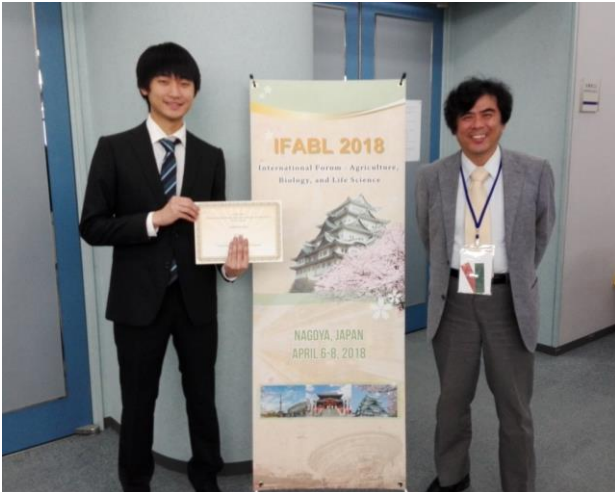


● 4月7日 蓮田研究室の荒井裕貴さん（理工学部 4 年）が国際会議で論文を発表しました

2018年4月7日（土）、名古屋市国際会議場（愛知県名古屋市）で開催された国際会議 IFABL 2018 で、帝京大学理工学部情報電子工学科蓮田研究室の荒井裕貴さん（情報電子工学科 4 年）が水生昆虫の移動をセンシングする技術とそれを用いた生理学実験に関する研究成果（題目：「Some Factors influencing the drift rates of mayfly larvae in the artificial stream」）を発表しました。



荒井さんは 2 年次のコロンバス州立大学や 3 年次のアトマジャ大学への留学で世界的な視野を持つエンジニアの地歩を歩みながら、3 年次の蓮田研究室配属後からはライトセンサを用いたカゲロウ幼虫の流下個体数の自動計測装置の実験に着手し、今回の国際会議で ecology 分野の論文発表に至りました。